

採点欄

問一	ア	軒	イ	象徴	ウ	素描	エ	究(極)	オ	戒
----	---	---	---	----	---	----	---	------	---	---

徳川時代の型にはまつた歴史ばかりを連想させ想像力をかき立てさせない城址とは違  
つて、蓮は歴史の鎖から解き放たれた生のみずみずしさを奔放に見せ想像力をかき立て  
させるから。

問三

詩	に	そ	要
に	の	の	だ
お	新	た	
い	し	め	
て	い	の	
最	形	本	
も	を	格	
重	修	の	
視	め	修	
す	る	業	
べ	こ	が	
き	と	現	
は	で	代	
形	詩	の	
を	魂	詩	
修	を	人	
め	得	に	
る	、	も	
こ	そ	必	
	の		
	後		

問四

一	二	三	四	五
文	城	文	東	京
章	址	章	京	都
I	と	II	と	都
で	蓮	で	京	都
は		は	と	都
へ		へ	京	都
新		新	と	都
旧		旧	と	都
と		と	都	都
い		い	都	都
う		う	都	都
村		村	都	都
比		比	都	都
を		を	都	都
用		用	都	都
い		い	都	都
			都	都

問五

創	の	い	の	の	私
作	技	形	技	術	は
と	巧	式	巧	の	思
は	の	が	の	本	う
	自	生	在	道	
	在	み	さ	を	
	な	出	に	意	
	な	さ	促	識	
	技	水	さ	レ	
	巧	水	水	た	
	を	と	て	鍛	
	究	だ	自	練	
	め	と	然	が	
	た	考	と	大	
	後	え	何	専	
	に	る	か	な	
	そ	。新	新	の	
	し	し	し	だ	
	そ	そ	そ	と	

合計点

氏名

受験番号

国語 解答紙 (その二)

採点欄

二	⑦ 円融天皇	① 中務
問一	⑧ 中務の詠んだ歌の中で自信のある歌を選んで天皇に献上するように言いつけた。	
問二	私はもう年老いて昔のように評判になるような歌は詠めませんので、これらの歌もかえって人に笑われることでしょうかと謙遜の思いを込めた。	
問三	円融天皇は翌年になって中務が献上した歌の中で最後に書かれた歌を見つけ、彼女の老いに対する恥じらいの気持ちを感慨深くも意外にもお思いになった。	
問四	中務	
問五	「積み」と「摘み」の掛詞	
問六	願望の終助詞	
問七	かつて花見に天皇がお見えになったこともあったので、ぜひとも今年咲き誇る自分を 分を見に来てほしいと天皇のお出ましを待ち望む花桜の気持ちを推量している。	
三	いまにも火事になるだろう。	
問一	不 <sub>下</sub> 録 <sub>上</sub> 言 <sub>二</sub> 曲 <sub>一</sub> 突 <sub>一</sub> 者 <sub>上</sub>	
問二	⑨ この家の真つすぐな煙突を曲がった煙突に作りかえ、薪の山を遠くに移さないと、 すぐに火事になる。	
問三	⑩ 最初に客の忠告に従っていれば火事も出費もなかったのに、その客はお礼の宴席に 招かず、火傷した者をもてなすのは間違いだ。	
問四	国亡裂土出爵之費、臣亡逆乱誅滅之敗	
問五	霍氏は危険人物であり反逆を企てているから、いち早く対策を講じ危難を未然に 防ぐべきだと提案した徐福の策。	

合計点

氏名

受験番号